

何かと出会って 新たな発見

# 暮らしほつとワーク

—バリアフリーへのかけ橋—

オアシスパーク/木曾川水園



Vol. 58

July 2016

今号の  
CONTENTS  
もくじ

【特集】知れば知るほど! なごや福祉用具プラザの役割  
その① 介護ロボット普及モデル事業への取り組み…P2~6  
〈夏休み特別企画〉プラザキッズサマーセミナー開催のお知らせ…………… P7

<特集>知れば知るほど!

# なごや福祉用具プラザの役割



なごや福祉用具プラザは、社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団が行っている総合的なリハビリテーションサービスのうち、障害のある方や、身体機能の低下した高齢の方の自立を支援し、介護者の負担を軽減するため福祉用具のご相談や、介護に関する実習や研修を行っている施設です。障害や介護に係わる誰もが豊かな生活を送っていただくための情報を発信する拠点でもあります。

なごや福祉用具プラザの主な業務は、〈介護実習・普及センター〉〈テクノエイド機能(仮称)〉〈介護ロボット普及モデル事業〉の3つに分けられます。

今回はその中のひとつ、〈介護ロボット普及モデル事業〉への取り組みをご紹介します。

## ▶平成27年度介護ロボット普及モデル事業▶▶▶▶

### 4月

- 瑞穂区内の地域資源を知ろう! 介護ロボット体験会 (介護支援専門員研修)

### 5月

- 国際福祉健康産業展ウェルフェア2015 福祉用具・介護ロボットの展示、体験



### 6月

- ロボット関連事業報告会



### 8月

- ロボットプログラミングワークショップ 子供向け

のプログラミング体験型講座 保護者向けの福祉用具・介護ロボット体験会

- ふれ愛納涼まつり 福祉用具・介護ロボットの展示、体験

### 9月

- 中部介護者教室
- ICF学習会(6ページ)
- 昭和区 認知症カフェ





1,2 電動簡易移乗器 i-PAL  
3 ロボットアシストカートRT.1  
4,5 シルエット見守りセンサ



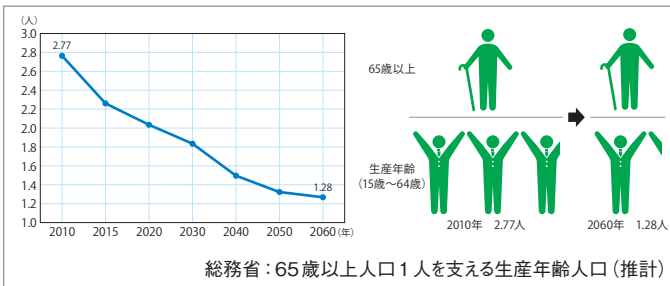
フラガ職員に  
聞いてみました

知れば知るほど！

国を挙げて介護ロボット開発に取り組んでいます



- 労働人口の減少と高齢化社会の到来で人手不足の問題が深刻になりつつあります。介護の将来を考えたとき、ロボットで人手不足の問題を解消できるのでしょうか？



これから深刻になりつつある問題に国を挙げて取り組んでいるのが現在の状況です。この大きな取り組みの発想はとてもシンプルです。少子高齢化社会で支える側の

人口が減少してきています。これまでなら高齢者や要介護者1人を3人程度の生産年齢人口で支えていましたが、将来はもっと少ない人数で支えていかなければなりません。その減った分のところをロボットで補いましょうというのが一番簡単な説明になります。

- 国はどんな支援をしているのでしょうか？

まず経済産業省が開発のための支援をしています。そして、それとは別に厚生労働省が普及のための支援に取り組んでいます。介護という側面を考えたとき、開発のみに注力するようなやり方ではどうしても頭打ちになってしまうがちです。「実際の問題として、ニーズとは別

福祉用具・介護ロボットの展示

10月

- 施設訪問 戸田川グリーンヴィレッジ 介護ロボットデモンストレーション、体験
- 施設訪問 なごや福祉施設協会 福祉用具・介護ロボットの紹介、体験

11月

- 施設訪問 なごやかハウス野跡 介護ロボットデモンストレーション、体験
- 施設訪問 戸田川グリーンヴィレッジ 介護ロボット導入、取扱説明
- みずほ介護フェスタ'15 福祉用具・介護ロボットの展示、体験

- 介護ロボット普及モデル事業中間報告会
- 兵庫県立福祉のまちづくり研究所視察
- シーズニーズマッチング交流会2015

12月

- 施設訪問 なごやかハウス野跡 介護ロボット導入、取扱説明

● 昭和区認知症講演会 福祉用具・介護ロボットの展示

- 導入支援ワークショップ①
- 体験研修会 移動支援機器（屋外型）

1月

- 施設訪問 名古屋市総合リハビリテーションセンター介護ロボット導入、取扱説明

に技術先行で機器を作ったけれども、出来上がった機器を普及させるにはどうすればいいか」というような相談を受けることが何度もありました。そうした反省もあって、現状では普及を見据えて、経済産業省と厚生労働省が一体となって進めているようなやり方によって変わってきています。現在は、独立行政法人「日本医療研究開発機構（AMED）」が経済産業省の事業を引き継いで「ロボット介護機器開発・導入促進事業」として進めています。



**開発メーカーと介護の現場、両者を  
つなぎ合わせるのが、なごや福祉用具プラザです**



- 市販されているロボットも出てきていますが、実際に介護や福祉の現場でどれくらい役に立つロボットが開発されてきているのでしょうか？

実はロボットが正常に動作がするか、介護の現場で役立つかどうかを検証するのが喫緊の課題です。実際の介護や福祉の現場としては、人であっても個性があり能力の違いがあり、また必要とされる側も個々に事情が異なり個別性が高く多様性もあります。そういった環境で使えるロボットを開発するのは大変難しいことです。ロボットを使う人のこともサービスを受ける人についても、現場も開発者側もお互いに知らないことばかりです。まだまだ情報が不足しているといえます。しっかり使える介護ロボットを開発するという観点では、まだ初期段階の始まったばかりといってもいいでしょう。しかし、開発された機器を実際に使いながら課題を整理し片づけていけば、やがて今抱えている問題が解決していきはらずです。開発メーカーと介護の現場、両方をつなぎ合

わせる役割として私たちが果たさなければならないことがたくさんあると考えています。



**導入実績を積み上げていくことが何より重要**



- 昨年も実際に機器を導入してワークショップなどを行いました。普及に向けての一番の課題はどんなことだと思いますか？

実績を積んでいくことが何より重要ではないかと思えます。介護の現場では、万が一でも危険性が考えられる機器について導入することはできません。それを乗り越えるためにはしっかりと安全性を確保し、エンドユーザーに対する実績をたくさん積んでいくしか



ないと思えます。経済産業省からは開発、厚生労働省からは普及について支援が出ていますが、そういった状況で何が足りないかといえば事例が不足しています。時間はかかるかもしれませんが実際に実績を積んでいくということが一番大事なのではないかと考えています。



- 平成28年度の取り組みとしてはどんなものになりますか？

今年度は、介護ロボットを使うための「介護ロボットを活用した介護技術開発モデル事業」ということがあります。導入機器の有効性を評価し、とにかく使ってみてその中から良かった点や悪かった点、どんな人に役立つ

- ロボットプログラミングワークショップ 子供向けのプログラミング体験型講座 保護者向けの福祉用具・介護ロボット体験会
- デモンストレーション 自立支援機器の説明、体験
- 施設訪問 なごや福祉施設協会 福祉用具・介護ロボットの紹介、体験

- 導入支援ワークショップ② 2月
- デモンストレーション 見守り支援の説明、体験
- デモンストレーション 排泄支援機器の説明、会見
- 導入支援ワークショップ③
- 福祉用具・介護ロボット展示&体験会



- 第5回ICFシンポジウム
- 福祉用具等研修会視察
- 導入支援ワークショップ④
- 3月
- 介護ロボット普及モデル事業報告会
- 福祉用具を使った起居・移乗講座



たかというデータの蓄積をやりなさいということが指針になっています。単なる開発だけでなく、導入する施設で効率的な活用方法を構築すること、介護ロボットを活用した介護技術の開発までが目的です。それから、これまで取り組んできました「介護ロボット普及モデル事業」も継続します。昨年は施設の見守り機器でしたが、今年度は在宅の見守り、排泄支援、移乗支援機器についてやっていきます。どちらの場合も、これまでと同じよ



リハビリセンターロボット体験会の様子

うに福祉施設と開発メーカーと、私たち仲介者がチームとなり、機器を理解するための勉強会、それが終わったところで実際に施設に機器を持ち込んでそれを使う前と使った後の結果がどうだったかを報告します。今年度は機器を使うためのノウハウの蓄積が指針に入っていること

からも、昨年度のモデル事業に比べると細かな計画書を作成しています。綿密な計画を立てて機器の効果測定、使い方の評価を中心に進めていきます。

### 皆さんに関心を持ってもらうことが 何よりも大事なことです

- とにかく使ってみて実績を集めていくということが大事なんです。

現在は、現場へロボットを持ち込んだときの課題を解決してはいますが、今後進めていくうえで大事なことは、エンドユーザーである一般の方々のロボットや機

器への関心ではないかと思います。今はまだ、自分たちの問題じゃないかと思っているかもしれませんが、遠くない将来、重要になってくるのではないかと思います。新しい機器を使った、新しい介護のスタイルを作っていくことがどんどん進んでいきます。これまで現場でアンケートをとった結果を見ると、使ってみた方々から「介護ロボットへは気を使わなくていい」という意見がたくさん寄せられています。そういった点からもロボットによる介護の可能性は非常に有望ではないかと思います。



介護施設での移乗支援機器の活用

自分には関係ないと思わずに、ぜひ手にとって触ってみて下さい。まずは、なごや福祉用具プラザに来て、こんなものがありますよ、こんなふうに使えますよ、ということを経験してほしいです。ささいなきっかけで、解決できないと思っていた問題を解決するための糸口というものがみつかるかもしれません。そうしたことを積み重ねて情報を集めていくことが、介護ロボットの普及へとつながっていくのだと思います。ぜひ気軽に見に来て機器を手にとってお話をして下さい。介護ロボットやいろいろな機器に関心を持ってもらうことがとても大事なことです。

## 福祉用具・介護ロボットの普及を リハビリテーションセンターと一体となって取り組むことの意味

なごや福祉用具プラザは、名古屋市総合リハビリテーションセンターで医療的訓練を終えた方が地域に戻っていく時に、住み慣れた地域で長く生活できるための支援をしています。こうした取り組みは、医療から地域まで資源がそろった名古屋市総合リハビリテーションセンターだからこその強みであり役割でもあります。この仕組みは、医療、介護、福祉の多くの専門のスタッフによって支えられ、総合リハビリの提供には欠かせません。なごや福祉用具プラザも日々、名古屋市総合リハビリテーションセンターと協力しながら、医療から地域まで、切れ目の無い支援ができるように心掛けています。福祉用具・介護ロボットの分野においても、医療にしかできないこと、福祉にしかできないこと、それぞれの強みを生かし、よりその人らしい生活の実現に寄与できるように一丸となって、研究開発、普及モデル事業に取り組んでいきます。



# 知れば知るほど！

## 平成27年度の取り組みを振り返って

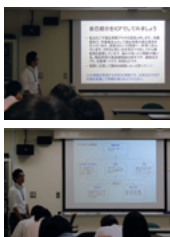


### 事例 見守りシステム導入支援 ワークショップ

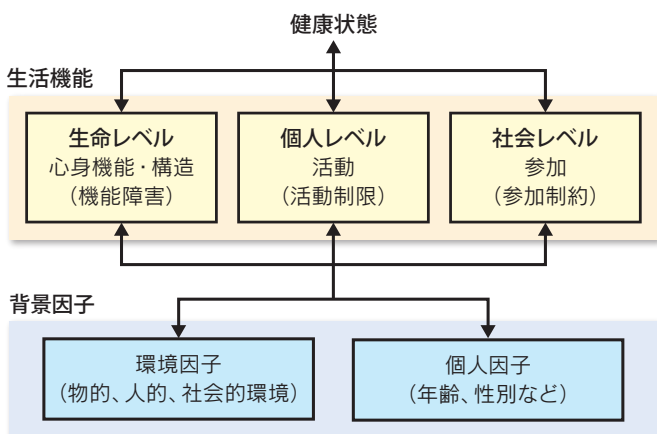
なごや福祉用具プラザでは、平成25年度から介護ロボット普及モデル事業を実施しています。年間を通して、介護ロボットの展示会や体験会など数多くのイベントを開催していますが、中でも、介護ロボットの現場への試用導入とその実績を受けてのワークショップは重要な取り組みです。福祉用具・介護ロボットを普及させるためのワークショップは平成26年度から行っていますが、平成27年度は事前に参加者お互いの職域や、試用導入される機器についての理解を深める場を設け、早い段階から情報共有しやすい環境を作り、より内容の濃いワークショップができるように工夫しました。

#### ICF 学習会の実施

2015年9月18日開催



試用導入を行う前に、開発メーカー、介護現場職員、行政職員など、ワークショップに関連する関係者を対象にICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) 学習会を開催しました。ICFを用いたアセスメントの考え方を学習することで、福祉用具とそれをめぐる人の状況を整理し、機器の開発やそれぞれの職域を理解することに役立ちました。



「ICF」は2001年に制定され、正式名称は「生活機能・障害・健康の国際分類」といいます。障害に関することや、健康に関することなどを、約1,500の項目に分類し、それらが左の図のように複雑に絡み合って相互作用していると考えたものです。



#### 【ICF 学習会参加者のアンケート結果から】

- 「目的が不明確な開発のみにICFが必要なかと思ったが、使う人を知るのに有用だと感じた」
- 「利用者の生活環境や心身状況をヒアリングするときに生かしていこうと思う」

#### モニター報告と第1回ワークショップ

2015年12月9日開催



見守り支援機器についてワークショップ開催のひと月前に試用導入を実施し、それについてのモニター報告を実施。それをもとにして1回目の導入支援ワークショップを開催しました。

#### モニター報告と第2回ワークショップ

2016年1月29日開催



第1回ワークショップから、ブレインストーミング<sup>1)</sup>を実施し、親和図法<sup>2)</sup>によって情報を「みえる化」し、立場の異なる職種の人でも情報共有がしやすいように工夫しました。

1) ブレインストーミングは、集団で新たなアイデアを生み出すための方法です。お互いの意見を聞きながら自由な発想で発言します。  
2) 親和図法は、ブレインストーミングなどによって得られた情報を、構造化し整理することで、問題解決に結びつけるための方法です。

#### 【ワークショップ参加者のアンケート結果から】

すべての参加者が「介護ロボットの導入の際にワークショップが有効」と回答

- 「多職種が集い話し合うことで様々な視点に気付く」「情報の整理・共有に役立つ」
- 「具体的な支援の経験の蓄積、現場の困りごとを伝える力、業者の現場を知る力、仲介者の調整力などに期待したい」

開発段階からニーズに寄り添った機器の開発支援が行えるようにするという目的、また利活用の提案力の向上、活用事例の蓄積という目的をもって臨んだ平成27年度の計画でしたが一定の評価が得られたのではないかと考えています。開発の直接支援には至っていませんが、開発者が介護現場の様子を理解することや現場職員と話し合える機会を作ったことで実際のニーズに触れる機会が増えました。





# プラザ 夏休み特別企画 キッズサマーセミナー

**参加費無料**  
小学3年生～6年生対象  
保護者向け企画も  
あります!

なごや福祉用具プラザでは、小学生の皆さんを対象とした  
“プラザキッズサマーセミナー”を開催します。  
夏休み期間中、ものづくりや親子レク、  
ロボットプログラミングを通して  
福祉用具や介護ロボットについて学びましょう。

※お申し込み・お問い合わせは、なごや福祉用具プラザにて受け付けています。  
詳細は、ホームページでご確認ください。



LEGO and MINDSTORMS are trademarks of the LEGO Group. ©2016 The LEGO Group.



## 1 自助具製作講座 ～ものづくり体験～

定員：15名

8月6日(土)  
10:30～12:30

身体の不自由な方が使う自助具(自らを助ける道具)の選び方や使い方を学び、実際にストローホルダーとペットボトルオープナーを製作します。  
講師：NFP技術ボランティア 他

## 2 親子レク ～親子で体を動かそう～

定員：10組(20名)

8月20日(土)  
10:30～12:30

アイマスクを使つてのキャッチボールやラケットを使つてのピン球送りなどいろいろなレクリエーションを親子で楽しみましょう。  
講師：福祉スポーツセンター職員

## 3 キッズロボットプログラミングワークショップ ～介護ロボットを体験しよう～

定員：各回15名

8月25日(木)  
①10:30～12:30  
②14:00～16:00

プログラミング初心者でも楽しく学べる、レゴ社マインドストームEV3を使ったプログラミング体験型講座と介護ロボットの体験会です。  
講師：ワンクリックアイティ・なごや福祉用具プラザ職員

## 4 パラリンピック写真展 ～障害者スポーツを知ろう～ ※期間中は、なごや福祉用具プラザ開館時に自由にご覧いただけます。

8月6日(土)  
▼  
8月25日(木)

今年は、リオオリンピック&パラリンピックが開催されます。前回のロンドンパラリンピックでの日本選手の活躍を写真で振り返ります。  
協力：日本障がい者スポーツ協会

**Welcab** 名古屋トヨペットのウェルキャブ  
お体の不自由な方や高齢者の方が、より快適に移動できるよう、乗り降りを助ける機能を装備したウェルキャブシリーズ。

**SIENTA** タイプⅢは車いす仕様車に  
助手席回転チルトシートをプラス!

シエンタ 車いす仕様車(タイプⅢ)“助手席側セカンドシート付”



ご存知ですか?

Welcab(福祉車両)シリーズはどなたが購入しても

**「消費税非課税」**です!

さらに!

環境対応車(エコカー)は優遇税制が適用されます。

★車いす等を車両に乗せるための昇降装置とその車いす等を固定するために必要な装置をした車両。  
★お体の不自由な方が運転できるように指定の運転補助装置を装着した車両。  
★リフトアップシートは車いす等の昇降装置として認められています。  
※仕様により課税となる場合があります。

人に「素敵」を。

**NTP** 名古屋トヨペット

本社 / 〒456-8555  
名古屋熱田区尾頭町2番22号  
営業時間 / ショールーム・U-Car展示場、点検・整備  
朝9:30～夜7:00  
定休日 / 毎週月曜日  
(祝日の場合は営業いたします)

## ウェルキャブステーション

名古屋トヨペットのウェルキャブステーションでは実際のウェルキャブを展示。介助専門士やウェルキャブコンサルタントが常駐し、ご希望を詳しくうかがいながら最適なウェルキャブ選びをサポートいたします。

千種内山店

〒464-0075 名古屋千種区内山3丁目7番3号

**052-741-1101**

トヨタ248店

〒471-0874 豊田市前田町5丁目15番地の1

**0565-31-7611**

豊橋下地店

〒440-0083 豊橋市下地町字境田90番地

**0532-53-7231**

上重原店

〒448-0013 刈谷市原田町1丁目151番地25

**0566-24-3338**

瀬戸店

〒489-0808 瀬戸市貝付町37番地

**0561-83-3161**

※その他にも、ウェルキャブシリーズをご用意しています。  
※試乗車については各店舗へお問い合わせください。  
詳しくは営業スタッフにおたずねください。

ウェルキャブは、NTP全店で取り扱っております。

名古屋トヨペット公式アプリ

GPSで現在地近くの店舗が検索できます。

App Store からダウンロード

ANDROID APP ON Google play

※AppleとAppStoreは米国および外の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
Apple StoreはApple Inc.のサービスマークです。

お客様相談センター **0120-081-567** (朝10:00～夜5:00、365日受付いたします)

【パソコンはこちらから】 **NTP** 検索 [www.ntp.co.jp](http://www.ntp.co.jp)

もっとクルマの話、しませんか。Answer, for you. TOYOPET

なごや福祉用具プラザは  
名古屋市から事業の委託を受けた

名古屋市総合リハビリテーション事業団が運営する

お身体に不自由のある方や障害のある方に

豊かな生活を送っていただくための

情報発信の拠点です。



地下鉄  
御器所駅  
すぐそば

名古屋市  
公式マスコット  
はち丸

ご利用は無料です(※)  
ぜひお越しください。

※介護者教室の材料費等は実費となります。



1 テクノエイド機能 (仮称)

- 福祉用具の製作・改造
- 技術支援・ネットワークづくり
- 障害者ITサポート事業
- 介護実習・研修
- 介護実習・研修
- 住宅改修相談
- リサイクル情報サービス

2 介護実習・普及センター

- 福祉用具展示・相談
- 福祉用具の普及・啓発
- 家族介護者教室

3 介護ロボット普及モデル事業

- 専門職によるアドバイス支援
- 介護ロボット等開発相談



エスカレーター入り口



エレベーター入り口



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015  
名古屋市昭和区御器所通  
3丁目12-1  
御器所ステーションビル3F  
TEL (052) 851-0051  
FAX (052) 851-0056

- 営業時間/  
AM 10:00~PM 6:00
- 営業日/火曜日~日曜日
- 休業日/  
月曜日・祝休日・年末年始  
(月曜日が祝日にあたる日は翌日も休みになります)

● ホームページ <http://www.nagoya-rehab.or.jp> ● 電子メール [n-plaza@nagoya-rehab.or.jp](mailto:n-plaza@nagoya-rehab.or.jp)



暮らしほっとワーク第58号

発行日/平成28年7月15日  
編集・発行/なごや福祉用具プラザ

この広報誌は再生紙(古紙  
パルプ配合率100%、白色  
度83%)を使用しています